

養老地区 田園まちづくりニュース

歴史講話と意見交換を実施しました！

10/19(土)に第2回養老地区まちづくり協議会として、歴史講話と意見交換を実施しました。当日は、養老地区の歴史について、学芸員の先生から講話をしていただきました。

その後、まち歩きを予定していましたが、雨天のため、事前に準備した風景や建物など風情あるまち並みの写真を見ながら「わがまち再発見」というテーマで魅力や問題点等について意見交換を行いました。養老地区住民16名、市役所職員2名、コンサルタント3名が参加しました。



次回の養老地区まちづくり協議会では、アンケート調査の結果のご報告と、まちづくりの構想について考えます。みなさま、ご参加の程、よろしくお願いいたします。

歴史講話の概要

講師：加古川市文化財調査研究センター 宮本学芸員

●養老地区の歴史

- 養老地区には古墳は現存していないが、古墳時代の石棺がいくつか遺っている。
- 鎌倉時代、加古川は播磨の中心地であり、養老はその中の「平（平（幣）の荘、平（幣）の庄）」の一部であった。
- 室町時代には、石造宝篋印塔ほうきょうなど文化財が造られた。
- 1877年に芝村と中村が合併して養老村が成立した。地名の由来は芝村の有力者滝氏の滝にちなみ養老と定められている。
- 1891年時点で人口461人、戸数100戸であった。（2024年は人口328人、戸数129戸）

●養老の文化財と遺跡

- 養老地区内は、県指定文化財として、石造宝篋印塔ほうきょう、その他の文化財として、石棺の身、石棺の蓋、石棺仏（石棺石仏）残欠群、「芝の渡し」を記す道標がある。
- 神社仏閣としては、養老天満宮（芝天満宮）、地藏堂がある。

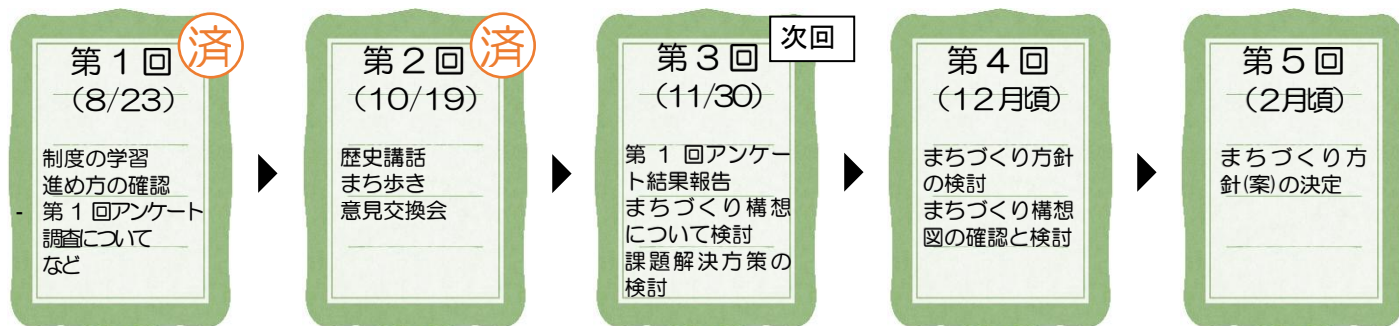
●民話、伝承

- 「芝の天神さん」という菅原道真の乳母の伝説がある。

●養老の自然と地形

- 山はなく、昔は芝村に加古川の渡し舟（芝の渡し）があった。

〈養老地区まちづくり協議会 1年目のスケジュール〉



第1回アンケート調査の実施

養老地区を見て、語り合い、 わがまちを再発見しました！

〈まち歩き〉

あいにくの天候によりまち歩きは中止となりましたが、代わりに事前に撮影した養老地区の写真をスクリーン上で見ていただきました。



養老天満宮（芝天満宮）



石造宝篋印塔



地藏堂



石棺の身



加古川

〈意見交換会〉

参加者のみなさんで意見を出し合いました。ご意見をいくつか紹介します。

【守り伝えたいところ、お気に入りの場所など】

●歴史

- ・文化財はこれからも大切に継承して行ってほしい。
- ・養老天満宮をもっとPRしていきたい。

●自然

- ・小川の堤防の桜並木がきれい。お弁当を持って養老地区みんなでお花見ができると良い。

●コミュニティ

- ・草刈りに参加する方が多く、穏やかで優しくまじめな方が多く、暮らしやすい。

●その他

- ・意見交換により、住んでいても分からない地区の魅力を発見することができ、改めて養老には良いところが多いと知ることができた。

★協議会終了後、雨があがっていたので時間のある方で養老天満宮と石棺の身を見に行きました。



【良くないところ、改善すべきところなど】

●安心・安全

- ・集落内の道路が狭く、車での通行が難しい所がある。側溝にふた掛けをしてはどうか。
- ・一方で、道路を広げると交通事故等の危険が増す可能性もある。
- ・浸水する恐れなど危険なところもある。

●土地利用

- ・店舗が減り、空地や空き家が増えている。
- ・県道沿いの耕作放棄地について、店舗や企業などを誘致するなど有効活用できないか。

●農業

- ・最近が高齢化や農業従事者の減少等で、農地が維持できないので耕作放棄地が多い。

●コミュニティ

- ・西と東で行事が分かれているため、西と東で交流できる行事をしてはどうか。

●その他

- ・昔は水路や河川敷にホタルがいた。餌をまくなどホタルを蘇らせる取組をしてはどうか。

アンケートへのご協力、ありがとうございました。
90軒からご回答を頂きました。
アンケートの集計結果は、第3回のまちづくり協議会で報告するほか、次回のまちづくりニュースでもお知らせします。



次回の協議会は・・・
11月30日(土)19時～、
西養老公民館です。
ぜひ気軽にご参加ください！！